

2020年2月28日

各 位

会 社 名 株式会社アクトコール
 代 表 者 名 代表取締役社長 福地 泰
 (コード番号：6064 東証マザーズ)
 問い合わせ先 執行役員 CFO 高橋 砂衣
 電 話 番 号 03 - 5312 - 2303

支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社である株式会社光通信について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等

(2019年11月30日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が 上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合計対象分	計	
株式会社光通信	その他の関係会社	26.18	—	26.18	東京証券取引所 市場第一部

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係

株式会社光通信は、当社の議決権の26.18%を保有しており、当社のその他の関係会社であります。2019年11月30日現在、当社取締役9名のうち、2名は株式会社光通信やそのグループ企業の取締役を兼務しております。

役員¹の兼務状況 (2019年11月30日現在)

役職	氏名	親会社又はその他グループ企業での役職	就任理由
取締役	和田 英明	(株)光通信 代表取締役社長 (株)プレミアムウォーターホールディングス 取締役 (株)エフティグループ 取締役	経営・コーポレートガバナンス体制強化のため。

役職	氏名	親会社又はその他グループ企業での役職	就任理由
取締役	大和田 征矢	㈱光通信 取締役	経営・コーポレートガバナンス体制強化のため。

また、2019年11月30日現在、株式会社光通信から3名の出向者の受け入れがあります。

なお、当社と同社との間には、物品購入の取引関係があります。また、当社と同社のグループ会社である、株式会社セールspartnerや株式会社ハルエネとは、緊急駆けつけサービスの提供等営業上の取引関係があります。いずれの取引についても、取引条件は、一般と同様であります。

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資金的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社と株式会社光通信は、当社の連結子会社であり当社及び同社の合弁会社である株式会社アクトクロスを通し、当社及び同社の商品・サービスを互いの販路を使い拡販するというシナジー効果の創出を目的として、協力関係を築いておりますが、当社は、同社からの事業上の制約は受けておりません。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社は、2019年11月30日現在、取締役9名のうち4名が株式会社光通信と兼務しておりますが、独立役員である、監査等委員である取締役3名が中立的立場にて意見及び意思表示を行い、当該意見を重視し意思決定をすることにより経営判断を実施できる状況にあります。

なお、当社の独立性の観点を含め、株式会社光通信を含めた関連当事者との取引については「関連当事者取引管理規程」に基づき、その取引が当社グループの経営上合理的なものであるか、また取引条件が外部取引と比較して適正であるかを留意しており、特に重要な取引については、都度、株式会社光通信推薦の取締役以外の取締役全員の合意を得た上で、取締役会の承認を得て行う方針であります。

また、株式会社光通信とは事業上協力関係にありますが、当社主体の事業運営体制の下で、当社独自の経営資源にて事業運営をしており、独立性を確保しております。

(4) 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社は企業価値向上のため、今後も株式会社光通信と緊密な連携をとってまいります。当社の事業活動及び経営判断については、当社の責任のもとで意思決定並びに業務執行しており、一定の独立性は確保されております。

2019年11月30日現在、社外取締役のうち独立役員として届出を行っている3名がその豊富な知識と実務経験をもとに、当社の経営の監督及び経営全般への助言を行っており、うち2名は会計士、税理士であります。また、取締役会における決議に際しては、毎回社外取締役への事前の説明も十分に行っております。

2. 支配株主との取引に関する事項

該当事項はございません。

以上